

～ 北陸地域の技術者同士でワンチーム作りの秘訣を語り合おう！ ～

『ものがたり』継承法*の実践ワークショップ プロジェクトの成功に欠かせないチーム構築力



講師: 吉野 均 氏
物語りラボ 代表
日本プロジェクトマネジメント協会(PMAJ)理事

開催日程: 2026年1月30日(金) 9:30～17:30
北陸先端科学技術大学院大学 金沢駅前オフィス(ポルテ金沢9F)

対象者: 現場技術者、チームリーダー、プロジェクトマネージャー

受講料: 30,000円(昼食弁当付き 税込み)



【講座の目的】

当講座の大きな目的は、地元の技術者ならではのチーム作りに関する悩みや苦勞、知恵を共有し合い、参加者の皆さんのチーム構築力を高めると共に、地元の技術者同士の人間関係を構築することにあります。また、技術変化の激しい時代には、先達が残した知恵を確実に継承(伝播・伝承)しながら、互いに最新の技術や技能をリアルタイムに伝え合うことも大切なことです。

『ものがたり』継承法を実践するワークショップ(参加者が主体となる体験型講座)では、先達の知恵を継承しつつ互いの知恵を伝え合うことの大切を学ぶとともに、以下の4つの能力を鍛えることも目的としています。

- ① 伝えたいことを文書に表現できる執筆力
- ② 辛抱強く相手の話を聞く傾聴力
- ③ 他人の経験から物事の本質を掴む洞察力
- ④ その本質を他人に伝える『物語る能力』

【講座の概要】

チーム構築力は、PM(プロジェクトマネジメント)のグローバル標準であるPMBOK® 第7版がPMの12の原理・原則の一つに「協同的なチーム環境を構築すること」を取り上げているとおり、どんな業種や規模のプロジェクトにも、欠かすことができない知恵・力です。

協同的なチーム環境の構築に失敗すると、メンバー間での衝突を繰り返し、コミュニケーションの断然が起こります。その結果、生産性が低下し納期が遅延したり、緊急事態が発生しても報告が上がらなかったり、期待したとおりに成果物が完成できなかったりして、プロジェクトは失敗します。

チーム構築力は、いままでのプロジェクトでも重要でしたが、昨今、更に重要になっています。なぜなら、昨今のプロジェクトは、DX(デジタル変革)プロジェクトに見られるように、各種の最新技術や様々な専門業務知識を持つ人材で構成され、てんでんばらばらの価値観を持つ人材の寄せ集めだからです。

つまり、各人材は、仕事への取組姿勢や行動スタイル、プロジェクト参加の動機(プロジェクトで身につけたい技術や知識、成し遂げたいこと)、プロジェクト運営に関する考え方が異なっています。このようないかにてんでんばらばらの価値観を持つ人材を、ゴールに向けて一丸となって結集し、プロジェクト目標を達成できるワンチームに作り変えることは、容易なことではありません。

当講座では、北陸地域の技術者が今まで経験した、チーム作りの成功経験や失敗経験を互いに持ち寄り、ワンチーム作りの秘訣や失敗の真因を共有します。

【開催日程】

2026年1月30日(金) 9:30～17:30 北陸先端科学技術大学院大学 金沢駅前オフィス
(金沢市本町2-15-1 ポルテ金沢9F)

【受講料】

30,000円(昼食弁当付き 税込み)

※お支払いは申込受付時にお知らせする銀行口座にお振り込みください。

※ご参加頂いた方には、『ものがたり研究会』が発刊した書籍をプレゼント。

『ものがたり』の実例も収録されていますので、ぜひお読みください。

【対象者】

現場技術者、チームリーダー、プロジェクトマネージャー

【最少催行人数】

12名(1月30日は会場で実施)

※定員に満たない場合は中止となります。その場合、入金いただきました受講料は返金いたします。

(最少催行人員8名)

お申込みはこちらから▼



お申込締切

2026年1月7日(水)

私が推薦します

プロジェクトマネジメントの知識体系はPMBOKなどで整理されていますが、現実には極めて経験的な知識であり、書籍やマニュアルを読んだだけで修得できるものではありません。一方、多くの経験を積むには長い時間がかかります。その経験を仮想的に体験できるのが「物語」です。「物語」は、プロジェクトマネジメントの知識継承手法として有効ですが、講師の吉野均氏はIT企業での「物語」活用を長年実践し、PMAJでも研究会を立ち上げ「物語」作りに取組んでこられた第一人者です。今回も金沢駅前で開催とのことで、たいへん貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。



内平 直志 氏

北陸先端科学技術大学院大学
名誉教授・特任教授

【講師】

吉野 均 氏
物語りラボ 代表
日本プロジェクト
マネジメント
協会(PMAJ)理事



1977年3月東京工業大学卒業。同年4月富士通株式会社に入社。現役時代37年間は、主に金融機関様などのお客様向けプロジェクトを、担当者・リーダー・管理者・責任者の立場から経験。現場で起こる様々な課題解決を通し、プロジェクトマネジメント(PM)力を身に付けた。2014年6月嘱託再雇用後の5年半は、IT技術者の現場力・実践力といったナレッジ継承活動に取組み、その活動を通してユニークなPMノウハウ継承法である『ものがたり継承法』を確立した。退職直後の2020年1月より、在職時の43年間の経験を活かしてPMの講師業とノウハウ継承のコンサルタント業を開始。2022年4月 日本プロジェクトマネジメント協会(PMAJ)内にPMノウハウ研究会SIG(略称 ものがたり研究会)を立ち上げ、『ものがたり継承法』の洗練と普及に向けて活動中。2025年7月PMAJ理事に就任。

ご参加いただいた方には、
補助教材として
PMAJ『ものがたり』集・創刊号を
特典としてプレゼント！！



【スケジュール】 ＊参加者の人数で時間割が変更する場合があります。

9:30 ~ 9:40 1. オープニング

9:40 ~ 10:10 2. アイスブレイク演習 クラス(講座に参加された全員)で各自2分程度の自己紹介

10:10 ~ 10:30 3. 演習の進め方の説明 実践演習で使用する『ものがたり』継承法の技法に関する説明など

10:30 ~ 12:00 4. グループ (4名~6名の2グループ)内で事前検討
・各自が持参した箇条書きメモの発表と質疑
・実践演習の対象とする箇条書きメモを2つ選定
・2回の実践演習の役割分担の決定

12:00 ~ 13:00 昼食休憩 オフィスでお弁当

13:00 ~ 16:40 5. ワンチーム作りの秘訣を伝え合う実践演習
以下の演習を2回繰り返す。
①グループ内演習(50分)
・選定した箇条書きメモを、グループ全員で様々な角度から分析し、対話を通して『ものがたり』継承法の技法を使ってプレゼン資料を作成する。
②クラス演習(各グループの発表・質疑応答・講評(30分)×2=60分)
・各グループは、相手グループに対してプレゼン資料を発表する。
・相手グループは、その発表について、良かった点や疑問に思う点をコメントする。
・発表側はそのコメントに対してコメントを返す。
・講師が演習の結果について講評する。

16:40 ~ 17:30 6. クロージング
・講座全体の振り返り
・クロージング・ミニ演習
・皆さまへのエール